

小学校版「SOSの受け止め方指導プラン」学年・学年ブロック集会（小学校高学年）

- 1 ねらい これまでの学習を振り返ることで、自分も安心できる環境づくりの一員として、これからの生活に生かしていこうという意欲を高める。
- 2 準備 ワークシート、資料（「子ども教育・子育て相談」「24 時間子供SOSダイヤル」「心の電話相談室」「SOSミニレター」のプレート等）、CD（電話対応、メッセージ）再生機器（CDデッキ、パソコン）
- 3 展開

| 学習活動（15分） ○：留意点 点線：評価 ☆：振り返りの児童の意識 |
|---|
| <p>1 学級活動の内容を振り返り、授業の感想や分かったこと等の意見交流を行う。（4分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相談の受け止めさん」について、内容を確認する。 ・学級活動の授業での感想を伝え合う。 <p>○司会進行は、教員が行う。</p> <p>○授業で使用したワークシートを児童に返却しておく。</p> <p>○授業で使用した掲示資料を見せて「相談の受け止めさん」について想起できるようにする。</p> <p>○授業のまとめで書いた部分について、3分間で他学級の友達二人と交流することを伝える。</p> <p>○友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことを伝える。</p> <p>☆考え方って色々あるんだな。</p> <p>☆自分と同じ考えの友達がいると、なんだか安心するな。</p> |
| <p>2 これまでの学習のまとめをする。（4分）</p> <p>① SOSの受け止め方に関する学習のまとめをする。</p> <p>○学年の担当教員が、以下の点等について触れ、SOSの受け止め方に関する学習の振り返りができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の様子の変化に気付き、声をかけることが大切であること。 ・相手を思いやり、相手の立場に立って聴くことが重要であること。 ・相手の気持ちを汲み、無理やり解決に結びつけないこと。 ・自分だけで背負わず、先生や親などにも伝え、解決につながるようにすること。 </div> <p>☆友達の変化に気付いて、声を掛けていきたいな。</p> <p>☆先生にも伝えて、みんなで解決させることができるようにしたいな。</p> |
| <p>3 振り返りをする。（7分）</p> <p>② SOSの出し方・受け止め方に関する学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOSの出し方・受け止め方の学習のまとめをする。 <p>○「子ども教育・子育て相談」「24 時間子供SOSダイヤル」「心の電話相談室」「SOSミニレター」等を紹介し、学校以外にも相談できる場所はたくさんあることを伝える。</p> <p>○録音ファイル（「子ども教育相談係」の相談員の電話の受け方と子供たちへのメッセージ）を聴くことで、様々な相談の窓口があることを知らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《録音されている内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども教育・子育て相談 「はい、子ども教育・子育て相談です。どのようなことにお困りですか。話しやすいところからお話してください。何年生ですか。」 ○ 24時間子どもSOSダイヤル 「はい、24 時間子供SOSダイヤルです。どうされましたか。話しやすいところからお話してください。何年生ですか。」 ○ メッセージ 「みなさん、こんにちは。私は、皆さんに配られた相談カードの場所で電話を受ける仕事をしています。私たちは、群馬県内の子どもや保護者からの相談を、電話で受けています。もし今、悩んでいて、周囲の人に相談しづらい人がいたら、私たちに相談して下さい。話しづらいことは、話さなくてもかまいません。秘密は守ります。話をするとスッキリしたり、考えが整理されたりすることもあります。学校や家の他にも、相談できる所は、いろいろあります。辛いときは、24時間、いつでも、気軽に電話をして下さいね。待っています。」 </div> <p>○学年の担当教員が、以下の点等について触れ、学習の振り返りができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の生活で意識してもらいたいこと。 ・「相談の出し方さん」「相談の受け止めさん」を上手に使っていくこと。 ・先生や親、地域の人達たちがゲートキーパーとして、常に身近にいること。 </div> <p>☆話を聴いてくれる場所がたくさんあることが分かったから、これからは相談をしていきたいな。</p> <p>☆友達の不安や悩みを受け止めたり、解決方法を考えていったりしたいな。</p> |